

資料7

秦野市公共下水道事業計画(経営戦略)と決算との比較

1 収益的収支(3条)予算

(単位:百万円)

区 分		平成30年度		計画値と決算 の比較(b)-(a)	主な増減理由		
		計画(a)	決算(b)				
収入	汚水	使用料収益	2,328	2,280	△ 48	人口減少の影響により、水洗化普及事業が遅れているため	
		一般会計繰入金	1,497	1,572	75	雨水分繰入金の減により、汚水分繰入金の割合が大きくなったため	
		その他収益	1,016	1,044	28	除却に伴う長期前受金戻入が増額したため	
		小計	4,841	4,896	55		
	雨水	一般会計繰入金	509	492	△ 17	雨水人件費について再雇用等により減額したため	
		その他収益	196	199	3		
		小計	705	691	△ 14		
	収入合計A		5,546	5,587	41		
	支出	汚水	維持費等	1,343	1,403	60	電気料金単価の上昇、伊勢原市維持管理負担金等が増額したため
			受託事業費	70	60	△ 10	薬品費等の経費が減額したため
減価償却費等			2,009	2,060	51	処理場設備の電気・機械設備等の更新により、取得資産が増加したため	
支払利息			498	498	0		
小計			3,920	4,021	101		
雨水		維持費等	85	70	△ 15	雨水人件費について再雇用等により減額したため	
		減価償却費	468	469	1		
		支払利息	117	115	△ 2		
		小計	670	654	△ 16		
支出合計B		4,590	4,675	85			
純損益A-B		956	912	△ 44			

(注)計画とは、計画期間H28～H37の「下水道事業建設(投資)計画」と「財政計画」からなる「秦野市公共下水道事業計画」を指します。

2 資本的収支(4条)予算

(単位:百万円)

区 分		平成30年度		計画値と決算 の比較(b)-(a)	主な増減理由	
		計画(a)	決算(b)			
収入	汚水	国庫補助金	116	19	△ 97	継続費設定の事業を翌年度へ繰越したため
		一般会計繰入金	44	68	24	事務費等の対象経費が増加したため
		企業債	283	272	△ 11	継続費設定の事業を翌年度へ繰越したため
		その他収入	47	17	△ 30	受益者負担金等が減額したため
		小計	490	376	△ 114	
	雨水	国庫補助金	202	147	△ 55	継続費設定の事業を翌年度へ繰越したため
		企業債	342	418	76	前年度繰越事業の出来高によるもの
		小計	544	565	21	
	収入合計		1,034	941	△ 93	
	支出	汚水	建設改良費 (施設整備費)	465	334	△ 131
企業債償還金			1,785	1,785	0	
その他支出(人件費)			50	28	△ 22	汚水と雨水の整備に係る人員配置を変更したため
小計			2,300	2,147	△ 153	
雨水		建設改良費 (施設整備費)	510	557	47	前年度繰越事業の出来高によるもの
		企業債償還金	307	307	0	
		その他支出(人件費)	34	43	9	汚水と雨水の整備に係る人員配置を変更したため
		小計	851	907	56	
支出合計		3,151	3,054	△ 97		

3 補填財源残高

区 分	平成30年度		計画値と決算 の比較(b)-(a)	主な増減理由
	計画(a)	決算(b)		
補填財源残高	677	833	156	計画初年度(H28)の補填財源残高が計画を上回り、今年度もそれを維持したため